

情報・システム研究機構経営協議会（平成29年度第1回）議事要旨

日 時：平成29年6月26日（月）13：30～15：30

場 所：情報・システム研究機構会議室

出席者：安宅和人委員、五十嵐道子委員、國井秀子委員、篠崎一雄委員、椿広計委員、長谷川眞理子委員、古谷研委員、安浦寛人委員、藤井良一委員（議長）、津田敏隆委員、樋口知之委員、桂勲委員、小池良高委員、白石和行委員、喜連川優委員

陪席者：鈴木監事、横山監事、本部事務局・研究所事務担当者

議事に先立ち、議長より委員の紹介及び本会の成立要件の確認があった。

議 事：

【審議事項】

（1）情報・システム研究機構長選考会議委員の選出について

藤井機構長より、資料2-1、2-2に基づき説明があり、審議の結果、安宅委員、五十嵐委員、國井委員、篠崎委員、椿委員、長谷川委員、古谷委員、安浦委員の8名を、機構長選考会議委員として選出することが了承された。

（2）平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

津田理事より、資料3-1、3-2に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

<意見概要>

- 新時代に戦略的にどこにウエートを置くかが重要。予算獲得する分野と基盤的な内部でサポートする分野があるはずなので、対外活動と内部での優先順位についてメリハリが必要。
- 情報セキュリティに特化した監査を行ってはどうか。
- 監事監査では職員の意識調査や満足度調査を行い、さらに経年でどう推移しているのか定量的に把握すると良いのではないか。
- 監査はPDCAサイクルが徹底的に回せるかどうかにかかっているので、積極的な者を導入すべき。
- 大学では、文部科学省からCSIRTの整備を進めるよう指導を受けているが、機構ではその体制は整っているのか。

→ 各研究所に CSIRT を設置するとともに、機構本部にも CSIRT を設置し、トリアージや機構全体での情報共有、さらにインシデントの重篤度を仕分ける取り組みを始めている。

- 情報発信はIVという高い評価を付けているが、まだまだ情報発信には工夫の余地がある。例えば、概算要求のポンチ絵では魅力をつける箇所にメリハリを設けてはどうか。

(3) 平成28年度決算について

小池理事より、資料4-1～4-4に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

<意見概要>

- 国からの運営費交付金が削減されているのであれば、基金を設立して経営を安定化させたらどうか。

(4) 平成30年度概算要求（機能強化経費等）について

小池理事より、資料5に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

なお、要求の内容や要求額については、機構長一任となった。

<意見概要>

- Society5.0 など国家の重要施策に関連しているものは、高いレベルで働きかけるなどして強力で予算確保に取り組むべき。
- 情シス機構が担っている全ての学術分野に対する基盤として普通の先進国並みに揃えておくということに対しては、例えば図書館長の集まりや国大協や私大連から総理宛の要望書を出すなどの活動をすべきではないか。

(5) 平成30年度概算要求（施設整備費等）について

小池理事より、資料6に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

なお、要求の内容や要求額については、機構長一任となった。

(6) 情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正について

小池理事より、資料7-1～7-3に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

(7) 国立情報学研究所千葉分館の将来計画について

小池理事より、資料8に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

【報告事項】

(1) 大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間評価について

津田理事より、資料9-1～9-7に基づき報告があった。

<意見概要>

- 外部に提出する文書等はフォーマットや字体の統一をすべき。機構全体のベクトルと各研究所のベクトルを同じ方向にし、例えば、研究所で尖っている部分があるから全体として尖るという構造の方が、外部からみると理解しやすいので、各研究所の現況分析等をしっかり行った上で機構としての統一感をしっかり出すべき。

(2) 大学共同利用機関法人における会計監査人の選任について

小池理事より、資料10に基づき報告があった。

(3) 人間文化研究機構との連携協定案について

津田理事より、資料11に基づき報告があった。

【自由討論】

- 機構には研究環境におけるエコシステムを構築していただきたい。個別の研究機関で何かが成り立つ時代ではないし、いかにコミュニティに貢献したかと、それを可視化することが重要。
- データサイエンスや情報科学はこれから期待される分野の中核であるが、人材不足。機構には魅力のあるキャリアパスや企業とのコミュニケーション等で分野を引っ張っていただきたい。
- データ駆動立国や Society5.0 といったことが国策として言われている中で、機構は中核な位置付けであるべきだし、文科省等がこの点を認識してくれるような情報発信が大事。
- 法人としての新たなアイデンティティを作るためのパフォーマンスを要求するというのは大きな負担であろう。例えば大学には本部があるが、それぞれの部局

に自由に活動させる方が本来のミッションである教育・研究のためには絶対によいと思う。そういう意味で、本来業務というものを核にして組織運営をしていくべき。

- 概算要求の機能強化の部分では、各研究所の大きなプロジェクトだけでなく、共通するところを抽出して全体で取り組む課題がひとつくらいあるとよいと思う。
- 経営協議会では、法規に則って事業を行っているかという視点だけでなく、アウトプットとして研究や教育の質向上にどのように貢献しているかという観点で議論することが重要である。
- 各研究所が重点を置く研究分野・課題、各研究所の長所とともに問題点を経営協議会で紹介して頂きたい。その際、世界のコンペティターも紹介していただきたい。

・最後に、今回が経営協議会の最終出席となる白石国立極地研究所長より挨拶があった。

(次回の経営協議会の日程について)

- ・次回の経営協議会は、10月25日(水) 13:30から開催の予定。

以上

《配付資料》

- ・情報・システム研究機構経営協議会規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 1】
- ・情報・システム研究機構長選考会議規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2-1】
- ・情報・システム研究機構長選考会議構成員(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2-2】
- ・平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書について・・・・・・・・・・【資料3-1】
- ・平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)・・・・・・・・・・【資料3-2】
- ・平成28事業年度財務諸表(簡易版)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-1】
- ・平成28事業年度財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-2】
- ・平成28事業年度事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-3】
- ・平成28事業年度決算報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-4】
- ・独立監査人の監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-5】

- ・監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-6】
- ・平成30年度概算要求 機能強化の方向性に応じた重点支援【総表(要望)】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 5】
- ・平成30年度施設整備費概算要求事項(要望)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 6】
- ・情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正について(案)・・・・・・・・・・【資料7-1】
- ・情報・システム研究機構組織運営規則(新旧対照表)・・・・・・・・・・・・・・【資料7-2】
- ・情報・システム研究機構組織運営規則(改正案)・・・・・・・・・・・・・・【資料7-3】
- ・千葉分館について(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 8】
- ・第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果・・・・・・・・・・・・・・【資料9-1】
- ・第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価の結果について(通知)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-2】
- ・第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果・・・・・・・・・・・・・・【資料9-3】
- ・国立大学法人・大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果(概要)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-4】
- ・国立大学法人の第1期中期目標期間から第3期中期目標期間に向けた取組の高度化について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-5】
- ・国立大学法人・大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間の業務の実績に関する評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-6】
- ・第3期中期目標期間の国立大学法人評価について・・・・・・・・・・・・・・【資料9-7】
- ・大学共同利用機関法人における会計監査人の選任について(通知)・・【資料 10】
- ・大学共同利用機関法人人間文化研究機構と大学共同利用機関法人情報・システム研究機構との連携・協力の推進に関する協定書について・・・・・・・・・・・・・・【資料 11】
- ・経営協議会委員からの提言等とその対応状況等(平成27-28年度)・・【資料12-1】
- ・教育研究評議会評議員からの提言等とその対応状況等(平成27-28年度)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料12-2】
- ・経営協議会委員名簿及び教育研究評議会評議員名簿・・・・・・・・・・・・・・【参考資料1】
- ・平成29年度情報・システム研究機構経営協議会会議予定表・・・・・・・・・・【参考資料2】
- ・情報・システム研究機構パンフレット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【参考資料3】